



つうしん ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 | 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2024 年 11 月 第 18 号

ひらやましょうがっこう
平山小学校のみなさんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

ひさ
久しぶりのナミビア通信になってしまいました。ナミビアの小学校は 12 月が学年末なので、学習のまとめをしたり、学年末の進級テストに向けて復習をしたりと、少し忙しくしていました。先週、学年末テストが終わりましたが、たくさん復習した甲斐もあり、よくできている子が多くとても嬉しかったです。何より嬉しかったのは、テスト前に苦手な単元を教えて欲しいと頼みに来る子や、放課後にわからないところを聞きに来る子がいたことです。正直、今までナミビアの子供たちの算数の様子を見てみると、理解できていないことが多すぎて、自分がその単元を習ったか習っていないかすら判断できていない子が多いと感じていました。だからこそ、わからないことをそのままにするしかなかったのだと思います。しかし今回のテスト前は、「長い針が左にあるときの時計の読み方がわかりません」「kg から g など、単位を換算する方法がわかりません」などと、わからないところを把握した上で質問してくれるが多く、これは大きな成長だと感じました。この子たちが次の学年に進級しても、こうであつたらいいなと強く思います。

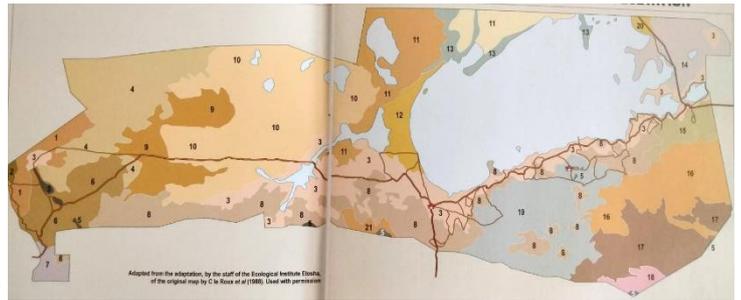
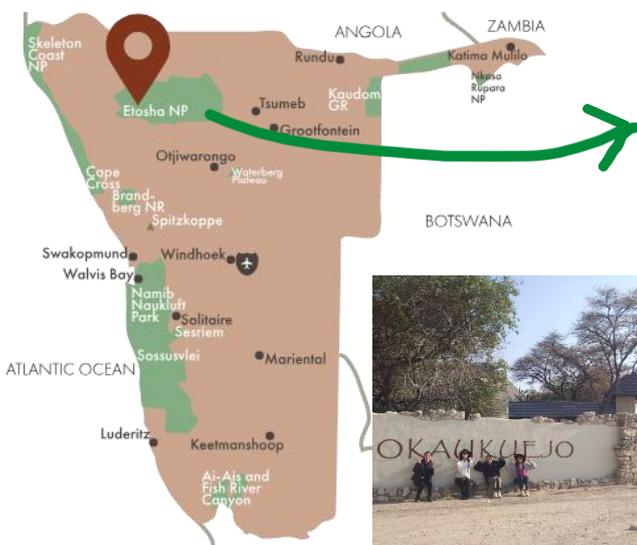
さて、だいぶ前の話になってしまいますが、8 月に「エトーシャ国立公園」という所へ行ってきました。ナミビアの中でも有名な観光地の一つです。今回はそこで見たものや学んだことを紹介したいと思います。

エトーシャ国立公園

① どこにあるの？

エトーシャ国立公園はナミビアの北部に位置しています。首都から車で 5 時間程度です。

エトーシャ国立公園 (Etosha National park)



↑ オカクエジョのゲート

この公園は約 2200 平方キロメートルあり、これは東京都よりも大きいです。動物を探しながらドライブすると 1 日では足りないため、この公園内で 1 泊する必要がある。今回は残念ながら公園内の宿が予約いっぱいだったので泊まらなかったため、真ん中あたりのオカクエジョ (Okavuejo) という所にあるゲートから入ってハラリ (Halali) という所までドライブして引き返しました。

②動物が集まる場所

8月は乾季なので、雨がほとんど降りません。そのため、動物たちは水を飲むために水のある場所へ集まってきます。エトーシャ国立公園内には、たくさんのウォーターポイントがあります。そのポイントを目指して移動することでより多くの動物を目にすることができるため、乾季の方が効率よく動物を探ることができるといわれています。ウォーターポイントは、天然のものと、人工的に作り出したものの2種類があるそうです。



↑ウォーターポイントに動物が集まっている様子

③エトーシャ国立公園内で見た動物たち



アフリカゾウ



キリン



クロサイ



スプリングボック



ブルーワイルドビースト



ダチョウ



ライオン



シマウマ



オリックス



レッドハートビースト



リス



マンガース

※公園内は車から降りることが禁止されているため、遠くで写真におさめられなかった動物もいました。実際、公園内には114種の哺乳類と340種の鳥類が生息しているといわれています。